

【平成22年度 奈良モデル検討会 作業部会取組状況】

平成22年12月15日現在

作業部会名	消費者行政の広域連携
検討内容	消費者行政の充実・強化のため市町村による広域連携の検討が必要であり、近隣市町村との相談窓口の輪番制（開設日に他団体の住民からの相談も受付）や相談窓口の共同化（窓口設置団体に負担金を支払い、相談業務を依頼）などについて、実現に向けて検討を行う。
参加市町村	37市町村 （奈良市、大和高田市、天理市、橿原市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村）
作業部会 実施概要	<p>①平成22年8月31日 第1回市町村消費者行政担当課長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に実施した市町村消費者行政の現状に関するアンケート結果を説明 ・広域連携による消費者行政の効率化案を提案 ・次回会議までに近隣市町村との連携を検討するよう依頼 <p>②平成22年9月24日 第2回市町村消費者行政担当課長会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加市町村から消費者行政の取り組み状況及び消費生活相談体制等の効率化に向けた検討状況を報告 ・消費生活相談体制の広域化に関する各市町村の意向を尊重した枠組みを提示し、意見交換 <p>③平成22年10月28日 第1回作業部会（第3回市町村消費者行政担当課長会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加市町村の意向に基づき6つのグループに分け、連携の枠組・内容、相談窓口の体制、実施時期等をグループごとに検討 ・各グループから検討結果を発表 ・グループの取りまとめ担当の市町村を中心に、今後も協議を進めるよう依頼 <p>④平成22年12月15日 第2回作業部会（第4回市町村消費者行政担当課長会議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度から広域連携を実施する予定の市町村が参加し、連携の枠組みごとのグループに分かれて、相談窓口の体制や実施時期等を検討

各市町村における消費生活相談体制の広域化に関する意向を尊重した枠組み類型(暫定版)

グループ分類	本部会の出席	市町村名	各市町村の消費生活相談体制等の効率化の検討状況
①	○	奈良市	近隣市町村から相談業務の依頼があれば受ける。
	○	天理市	近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	○	山添村	天理市との共同窓口設置を検討中。(単独設置もあり得る)
②	欠席	大和郡山市	近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	○	生駒市	広域連携について積極的な推進は検討していない。(近隣市町村から広域化の相談があれば検討する。)
	○	平群町	近隣町による既設相談窓口の連携について、前向きに検討。
	○	三郷町	広域共同化によるセンター設置を目指す。
	○	斑鳩町	共同窓口の設置は難しい。輪番制は今後検討。
	○	安堵町	今後週4日開設を目標に事業計画をしているが、生駒郡4町での輪番制も視野に入れたい。
③	○	橿原市	近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	○	川西町	近隣市町村との共同設置・運営が理想。
	欠席	三宅町	窓口設置に向けて準備中。
	○	田原本町	当面は現行体制を継続。将来的には近隣市町村との輪番制や共同設置の移行への検討要。
	○	高取町	橿原市に共同設置の要請を検討中。
	○	明日香村	今後橿原市との連携も視野に効率化を検討。
④	○	御所市	①市町村による広域化ではなく、県が南和地域に相談センター窓口を設置。②市町村をグループ分けし、輪番制で相談を実施。
	○	葛城市	3年以内に単独で窓口を4日開設する。近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	○	五條市	市単独で運営(西吉野、大塔地域と各支所の連携強化)。近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	○	野迫川村	共同窓口の設置若しくは県の相談窓口への委託化を希望。
	○	十津川村	他市町村との輪番や共同設置は難しいが、申し入れがあった場合は検討。
⑤	○	大和高田市	他市との共同設置や輪番制は難しい。
	○	上牧町	河合町との輪番制について今後協議を深める。
	○	河合町	週3日以上での開設を目指す場合、近隣との共同開設を検討。現在は相談件数の増加がなく、具体的な検討は行っていない。
	○	香芝市	市単独で運営。広域化は検討していない。
	○	王寺町	町単独で運営。広域化は検討していない。
⑥	○	吉野町	実践協議会による連携を継続。
	○	大淀町	実践協議会による連携を継続。
	欠席	下市町	相談窓口の広域化がもっとも有効と考える。
	欠席	黒滝村	実践協議会による連携を継続。
	欠席	天川村	吉野郡をベースにした共同窓口の設置。
	○	下北山村	実践協議会による連携を継続。
	欠席	上北山村	実践協議会による連携を継続。
	○	川上村	実践協議会による連携を継続。
	欠席	東吉野村	宇陀市と共同窓口の設置。
⑦	欠席	宇陀市	近隣の市町村から申し入れがあった場合は検討する。
	欠席	曾爾村	宇陀市との連携を継続。
	欠席	御杖村	宇陀市との広域化の強化・充実に目指す。
その他	欠席	桜井市	単独で週4日以上での窓口開設を目指す。広域化・輪番制等は検討していない。
	欠席	広陵町	検討していない。